

知 識 科 学 系 セ ミ ナ ー

テーマ

「マテリアルズインフォマティクスの動向と課題 ～「できた」と「分かる」」

講演者： 物質・材料研究機構 統合型材料開発・情報基盤部門
情報統合型物質・材料研究拠点長 伊藤 聡氏

日 時： 1 月 2 4 日 (金) 15:20～17:30

場 所： 知識科学系講義棟 中講義室

講演要旨：

昨今、データ駆動型科学が諸分野で進行中である。物質科学の分野でのデータ駆動型科学はマテリアルズインフォマティクス (M I) と呼ばれており、物質設計・材料開発を大きく変えるとの期待から産学で研究開発が進んでいる。すでに組成最適化はもとより特性を最大化する材料を設計し、かつ合成・試作する事例が報告されている。つまりM Iによって材料開発が「できた」のである。その一方で、なぜそれでできたのかを理解すること、すなわち「分かる」ということは別の問題である。最近では理解可能なA I (X A I) とも呼ばれるが、物質科学において「分かる」ためにはなにが必要かを考えてみたい。

講演者略歴：

民間企業の研究開発部門を経て、2011 年 5 月、理化学研究所計算科学研究機構コーディネータ、2016 年 4 月、科学技術振興機構プログラムマネージャ、2017 年 4 月、物質・材料研究機構情報統合型物質・材料研究拠点拠点長 情報統合型物質・材料開発イニシアティブプロジェクトリーダーを兼務。専門は計算材料科学。

パネル討論：

テ ー マ：「マテリアルズインフォマティクスと知識科学」

パネラー：伊藤 聡 氏 (物質・材料研究機構 拠点長)

パネラー：Dam Hieu Chi 氏 (JAIST 知識科学系 准教授)

パネラー：橋本 敬 氏 (JAIST 知識科学系 教授)

司 会：内平 直志 氏 (JAIST 知識科学系 教授)

お問合せ先： 知識科学系 教授 内平 直志 (Email: uchihira)